

on three species of *Herposiphonia* (Ceramiales, Rhodophyta) found in Japan

日本に生育する紅藻ヒメゴケ属 *Herposiphonia* (イギス目フジマツモ科) 3種を記載し、属内の分類学的形質について考察した。フトヒメゴケ *Herposiphonia crassa* Hollenberg は日本からは最初の報告で、太い主軸(直径 200-350 μm)と太い短条(限定成長する枝, 直径 100-200 μm)をもつこと、短条は比較的短く(長さ 400-1200 μm)多くの周心細胞からなり(節あたり 15-19 個)、3本(時に2本または4本)のよく発達した毛状枝(長さ 1.8-2.5 mm, 基部の直径 50-75 μm)を形成することによって特徴づけられる。ナガホノヒメゴケ *Herposiphonia elongata* Masuda et Kogame も日本新産種であり、嚢果を付ける短条が顕著に肥大成長することと精子嚢枝が長く伸長した不稔の先端部をもつことによって特徴づけられる。ヒメゴケ *Herposiphonia fissidentoides* (Holmes) Okamura については、以下の特徴が新たにみつかった: 仮根は周心細胞の先端に加えて、中央部からも形成されること、栄養毛状枝を欠いていること、プロカルプを生じる毛状枝と精子嚢枝は短い長条(無限成長する枝)上の生殖短条に形成されること、嚢果に時に短い距が見られること、および極端に大きい四分胞子嚢(130-150 μm)をもつこと。(北大・院理・生物科学)

増田道夫・谷 昌也・栗原 暁: 日本新産紅藻 3種

Michio Masuda, Masaya Tani and Akira Kurihara: New records of three marine red algae from Japan

紅藻イギス目の日本新産 3種について、分類学的コメント

を付して形態的特徴を記載した。これらの種の日本における生育地は、北西太平洋における地理的分布の北限を示すものである。ナガゲダジア *Dasya longifila* Masuda et Kogame は小型で疎らに皮層を生じる主軸、介生分裂を伴う長い偽枝、および四分胞子嚢托と精子嚢枝それぞれが生殖偽枝あたり少数形成されることによって特徴づけられる。カクレクダノリ *Endosiphonia horrida* (C. Agardh) P. Silva は、枝が頻りに吻合して主軸の不明瞭なブッシュ状の株を形成すること、内側の皮層細胞が中軸細胞ならびに周心細胞と同じ長さになること、および無分枝の毛状枝が多数生じることによって特徴づけられる。ハリガネソゾ *Laurencia flexilis* Setchell は、盤状付着部から多数の堅い軟骨質の軸を生じ匍匐枝を欠くこと、栄養節あたり 4 個の周心細胞を形成すること、および隣り合った皮層最外層細胞間に縦方向の二次的壁孔連絡がないことによって特徴づけられる。(北大・院理・生物科学)



英文誌 54 巻 3 号表紙

不動精子を媒精して 30 分後のダルス属 sp. (紅藻ダルス目) の雌性配偶体(矮生体)。DAPI 染色したものを蛍光顕微鏡で撮影。

藻の見遊山

企画展示「アサクサノリ —ノリの自然誌—」

千葉県立中央博物館分館海の博物館では、平成 19 年 4 月 8 日(日)まで、絶滅のおそれのあるアサクサノリを中心に、ノリの生きものとしての姿を紹介する企画展示「平成 18 年度マリンサイエンスギャラリー アサクサノリ—ノリの自然誌—」を開催しています。ノリの分類や生活史、絶滅危惧種のノリの現状、今冬に東京湾で行われたアサクサノリ養殖の様子などを紹介しています。また会場では、日本産のノリ 28 種の標本写真なども載せた展示解説書も配布しています。この機会にぜひノリについて理解を深めていただければ幸いです。

千葉県立中央博物館分館海の博物館

交通: JR 外房線 鶴原駅下車 徒歩 15 分; 勝浦駅下車 タクシー 10 分。

入館料: 一般 200 円, 高校・大学生 100 円, 中学生以下と 65 才以上は無料。他に団体割引などあり。

連絡先: 〒 299-5242 千葉県勝浦市吉尾 123 千葉県立中央博物館分館海の博物館
Tel 0470-76-1133 Fax 0470-76-1821

E-mail kikuchin@chiba-muse.or.jp (菊地)

(千葉県立中央博物館分館海の博物館 菊地則雄)

